



KWACHA

NO.2

Kwacha (クワチャ) はチェワ語で「夜明け」を意味します。

マラウイ国外務省より 当協会承認さる!!

1983年6月10日、卜部会長からバンダ大統領宛てた、協会の趣旨を説明し協力を要請する親書(卜部会長親書)を、マラウイ国赴任の有馬光正OBに託し、その後、新任の村上大使に協会設立の趣旨概略を説明し、マラウイ国側に対する大使からの協会の紹介を依頼し、現在に致っておりますが、1984年7月17日外務省へ卜部会長、秋山副会長、貝塚専務理事、山村監事がアフリカ5ヶ国に訪問予定の北川石松政務次官を訪ね、再度当協会の趣旨を説明し、バンダ大統領との会談の席上での当協会の紹介を依頼しました。北川政務次官は7月21日にマラウイ入りをし、隊員活動状況を視察した後、バンダ大統領と通訳を交え3人で話され、大統領も気さくに政務次官の要請に応えられたとの事で、数10分の予定が約1時間にもなったようです。北川政務次官が会談した翌22日付で、マラウイ国外務省より卜部会長宛の手紙が届きました。両国の友好関係にとって、マラウイ協会の今後の活動が重大になってくるでしょう。下に関連受信文書のコピーを載せておきます。

THE SECRETARY FOR EXTERNAL AFFAIRS

Ref. No. EA/11/11/02 22nd June, 1984

Mr. Toshio Urabe,
Chairman,
Malawi Society of Japan,
Tokyo,
Japan

Dear Sir,

I have the honour to refer to your letter dated 23rd May, 1983 in which you informed the Life President of the Republic of Malawi, Ngwazi Dr. H. Kamuzu Banda, about the formation of the Malawi Society of Japan.

I am pleased to confirm that the Life President has been informed about the existence of the Malawi Society of Japan.

I would also like to convey to the members of the Society through you, Sir, Malawi's support for the Society, and gratitude to you personally for being its Chairman. Your willingness to increase Malawi's economic and cultural profile in Japan is most appreciated.

You may be interested to know that I have requested the Department of Information in Malawi to inform you of their publications so that the Society may place a subscription in order to receive the publications regularly.

Please convey my greetings and best wishes to all the members of the Society. I look forward to being informed of the Society's activities periodically.

Yours faithfully

S. M. Kakhobwe

22nd June, 1984

The Resident Representative
Japan Overseas Co-operation
Volunteers,
P. O. Box 30083,
Chichiri,
MALAWI.

Dear Sir,

I would like to obtain, through you, the postal address of the Malawi Society of Japan.

As you are aware, on 26th February, 1983 the Japanese friends of Malawi in Tokyo formed an association called "The Malawi Society of Japan". Although the Government is aware of the existence of the Society, this Ministry does not have the postal address through which the Society may be contacted directly.

In this connection, I should be grateful to obtain the Society's full address in order to facilitate direct contact. It would also be useful to know the street address of the place where members of the Society meet regularly so that Malawian visitors to Tokyo, Japan, may have the opportunity of meeting the Society's members.

I look forward to receiving your reply.

Your faithfully,

W. J. Chawawa
SECRETARY FOR EXTERNAL AFFAIRS

for :

11th July, 1984

The Resident Representative,
JOCV,
P.O.Box 30083,
Chichiri,
MALAWI.

Dear Sir,

MALAWI SOCIETY OF JAPAN

This Department has received a letter from the Ministry of External Affairs informing us an association known as the Malawi Society of Japan has been formed in Japan.

Those forming the society are Japanese who have been to Malawi and they say their society is non-political and non-religious organization to promote friendly relations between Malawi and Japan.

The Chairman is Mr. Toshio Urabe, who was the first ambassador accredited to Malawi from 1964 to 1968.

The society has requested for a list of publications from this Department of which it would like to subscribe.

- These are:
1. Malawi Yearbook - published yearly
 2. This is Malawi Magazine (monthly) - K25.80 per year
 3. Malawi Calendar (on a particular theme each year)
 4. Malawi in Brief (to be published soon)
 5. Assorted free publications

Please pass on the message as requested.

Your faithfully,

B. E. M. Nyirenda
CHIEF INFORMATION OFFICER

for :

11th October, 1984

Mr Mitsumune Kaizuka,
Executive Director,
Malawi Society of Japan,
2-18-Gohongi,
Meguro-ku,
Tokyo 102,
JAPAN

Dear Sir,

We have the honour to refer to your letter dated 10th September, 1984, addressed to Mr. W. J. Chawawa of this office.

We must say how pleased we are to have received the Society's street and mailing address and your publication, "Malawi : The Warm Heart of Africa".

Your address will indeed facilitate direct contact between the Society and organizations in Malawi which will be interested in its activities. In this regard, we have transmitted it to our Department of Information in case you would like to place a subscription for its publications.

We have also noted, with gratitude, your kindness to let Malawians visiting Japan on official business to sit with members of the Society during their meetings. Malawians will definitely look forward to attending the meetings and their intentions to do so will accordingly be communicated to you in advance.

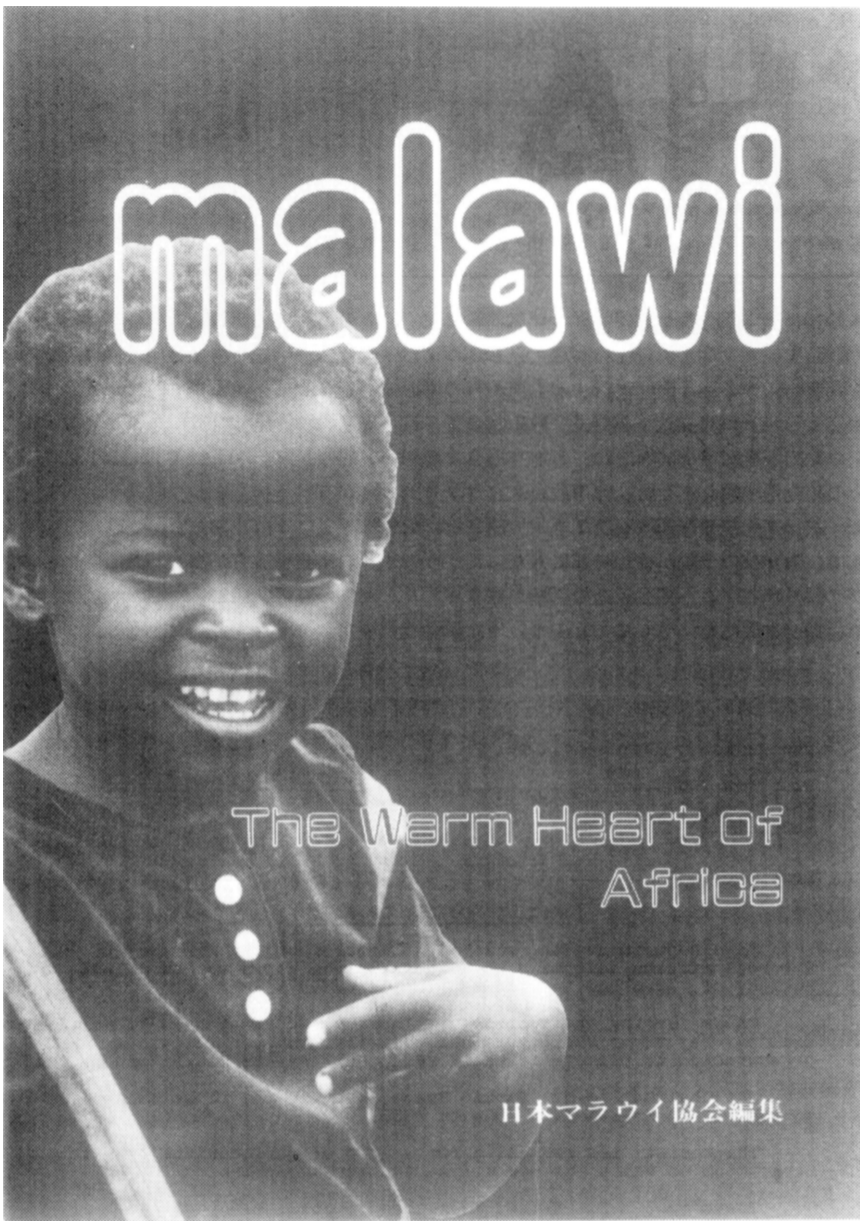
Your publication is a very good bulletin. It clearly demonstrates the Society's commitment to the objective of enhancing the understanding of Malawi's economic social and cultural development in Japan.

We are looking forward to seeing the activities of your Society cementing the cordial relations already existing between Japan and Malawi.

Your faithfully,

B. H. Sande
SECRETARY FOR EXTERNAL AFFAIRS

for :

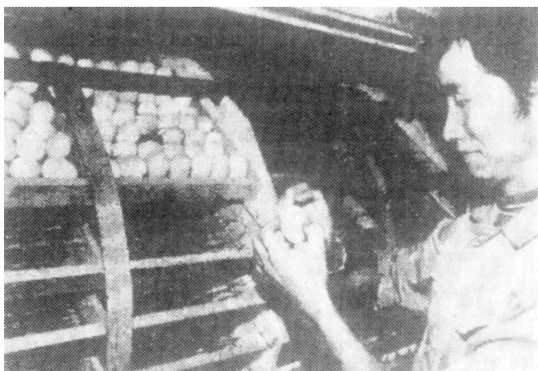


マラウイ国情紹介誌刊行される

83年暮より皆様から原稿を寄せていただき編集を重ねてまいりました紹介誌が、8月23日出来上がりました。サイズはA4版で全32ページ一部カラーです。当初予定の50ページカラーとはいかず多少心残りではありますが、予算の都合もあり仕方のないところです。内容はKWACHA(No.1)に紹介しましたように、マラウイ国全般にわたって浅い部分に留まっていますが十分OB, OG諸氏の国内活動に役立つことでしょう。

価格は送料込みで1,250円です(ただし会員には無料配布)。入会購読よろしくお願いたします。

立派にできた 国産ふ卵器



出来上がったふ卵器の鶏卵を点検する岡本さん

食糧事情の改善が重要な国家目標であるアフリカ南部の国、マラウイ共和国でこのほど、日本の青年海外協力隊員の協力によって国産第一号のふ卵器が完成した。この“手づくり”のふ卵器、輸入品と比べても見劣りしない立派なもので、「機械はすべて輸入するもの」という固定観念にとらわれていた現地政府関係者はびっくり。製作にあたった協力隊員は同国農業省の要請を受けて一年間の滞在延長を決め、ふ卵器製作技術の普及に意欲を燃やしている。

<食糧事情の改善に一役>

マラウイ共和国はブラックアフリカ諸国の南東部に位置す農業国。近隣諸国と比べると比較的食糧事情は良いが、国民が肉を口にするのは年に数回で、政府は動物性タンパク質摂取量を増やすことに力を入れている。

農業省も養鶏事業拡大のプランを立てているが、同省にはイギリスから輸入した古いふ卵器が三台あるだけ。新しく輸入しようにも、重さが約一トンもあるために膨大な費用がかかり、外貨不足に悩む同国の財政事情の悪化につながりかねない。

そこで同国農業省畜産局ミコロングウェ畜産試験場で養鶏の指導に当たっていた青年海外協力隊員、岡本

俊則さん(27)が国産ふ卵器の製造を計画、同僚の一之瀬藤雄さん(33)、木村明男さん(36)とともに現地の人々の協力を得て約半年間の歳月をかけてつくり上げた。

ふ卵器はまだ試用の段階だが、一度に三千八百個の卵をふ化させることができる、立派なもので、外見も輸入品と比べて見劣りしない。モーターなどマラウイ国内ではどうしても入手できない一部の部品を日本から取り寄せたほかは、すべて国内で調達。現地の大工や作業所の人々の協力を得、岡本さん自らも金づちをふるい、カンナをかけた。

(日本経済新聞

昭和59年8月27日付より一部転載)

昭和58年度事業計画

1. 広報活動

- 1) 機関紙「KWACHA」の継続
- 2) 国情紹介誌「malawi」の発行
- 3) マラウイ国独立20周年記念パネル展開催
- 4) 個人及び団体に対する入会勧誘運動

2. 資料収集活動

- 1) 「This is Malawi」, 「Moni」, 「Malawo News」定期購読の継続
- 2) その他書籍、参考資料の入手・検討

3. 文化活動

- 1) チチュワ・日本語辞典の編さん準備
- 2) 比較生活文化事典の編さん準備
- 3) 医療品・教育機器用具等贈与の可能性調査及び促進
- 4) マラウイ国からの留学生の増大のための助言及び支援
- 5) 姉妹都市提携の可能性調査及び助言並びに支援

4. その他

- 1) 会員名簿の作成

青年海外協力隊マラウイOB会解散

社会的活動を日マ協会へ引継ぎ

青年海外協力隊マラウイ国派遣隊員OB会「ムリブワンジ会」は、去る9月14日、東京都渋谷区東京ヒルポートホテルで総会を開催しました。総会では、OB諸氏が中核的役割を果たして創設された日本マラウイ協会が、社会的活動を活発に行っていることを高く評価するとともに、諸氏の力の一層の集結を図るため、社会的活動へ向けてのOB会「ムリブワンジ会」を解散し、日本マラウイ協会へその活動を引き継ぐことを決議いたしました。

採択された決議文及びこれに先立つ葉書による会員意見の集計結果は下記のとおりです。10有余年にわたるムリブワンジ会活動に対する、OB・OG各位のこれまでの御協力に厚く御礼申し上げますとともに、今後共、彼我の国の間の架け橋として、日本マラウイ協会を通じ、一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

元ムリブワンジ会会長 木内行雄

<決議文>

昭和49年創立された青年海外協力隊マラウイOB会たるムリブワンジ会は、昭和59年9月14日、東京にて総会を開催し、日本マラウイ協会が、マラウイ国派遣隊員OBを主体として外なる活動を活発に行いつつあることを高く評価し、こうした協会活動に対して、OB諸氏の一層の参加協力を期待し、力を集結することを願い、

ここに、外なる活動へ向けてのムリブワンジ会を発展的に解消し、日本マラウイ協会に引き継ぐことを決議する。

<ムリブワンジ会の今後に関する会員意見集計結果>

婦国隊員数	396 (59.8.1 現在)				
意見聴取葉書送付数	350				
返信葉書回収数	121				
回答結果	発展的解消に賛成	反対	委任	無回答	計
出席	10	0	1	7	18
欠席	62	3	12	26	103
	72	3	13	33	121

比較生活文化事典に掲げる 300 項目

比較生活文化事典(金山宣夫著,大修館書店館)は,日常の食事から婚姻制度,企業の特徴,死生観まで,生活と文化の具体的特徴 300 項目について世界各国を比較した「読む事典」。

- | | | | |
|-------------------|----------------------|-------------------|-------------------|
| 1 日常の食事 | 76 家庭のなかの社会学 | 151 男と女の社会的地位 | 226 物を借りると |
| 2 何を使ってたべるか | 77 公衆浴場 | 152 婚姻制度 | 227 承認のしるし |
| 3 手や口を何でふくか | 78 温泉旅行と修学旅行 | 153 婚外関係 | 228 約束 |
| 4 食べる時の音 | 79 見えるコミュニティ | 154 夜の一人歩き | 229 契約書 |
| 5 物を食べるのを表すジェスチャー | 80 プライバシーでの着物 | 155 男が美人に出会うと | 230 裁判 |
| 6 料理の盛り付け | 81 アンマあるいはマッサージ | 156 ホテルでの記帳 | 231 もめごとの解決法 |
| 7 物を口に入れたときの作法 | 82 家庭使用人 | 157 売春 | 232 銃砲 |
| 8 食事の回 | 83 どこに寝るか | 158 墮胎 | 233 麻薬 |
| 9 通勤者の朝食 | 84 部屋の機能 | 159 部屋のなかの2人 | 234 かけごと |
| 10 レストランの水 | 85 部屋の温度 | 160 公衆便所 | 235 警官 |
| 11 食習慣の特色 | 86 家のなかの照明 | 161 同性愛と姦通 | 236 軍備に対する態度 |
| 12 日常の買い物 | 87 建材 | 162 露出許容度 | 237 大統領に対する態度 |
| 13 レストランの料理見本 | 88 日あたり | 163 生理休暇とツワリ | 238 国際関係 |
| 14 客に出す飲み物 | 89 一戸建かアパートか | 164 コンドームとピル | 239 特定国との関係 |
| 15 飲み物の注ぎ方 | 90 家と庭 | 165 結婚と離婚 | 240 国民的関心 |
| 16 舌づつみとゲップ | 91 赤ん坊が生まれたら | 166 成人の権利 | 241 新しいことに対する態度 |
| 17 鼻をかむ | 92 カギ | 167 世帯をいとなむ | 242 新聞と電話 |
| 18 レストランでの弁償 | 93 プライバシーの条件 | 168 結婚式と披露宴 | 243 公共サービス |
| 19 チップ | 94 家を借りるには | 169 赤ん坊の運び方 | 244 国語 |
| 20 勘定をあらためる | 95 出前とご用聞き | 170 幼児のオシッコ | 245 国語の特性 |
| 21 釣銭のわたし方 | 96 デパートの配達 | 171 赤ん坊はどうして生まれるか | 246 言語の社会学 |
| 22 支払い方法 | 97 進物のしきり | 172 公衆の面前での愛情表現 | 247 外来語 |
| 23 勤務時間と昼休み | 98 企業交際費 | 173 夫婦間の確かめ合い | 248 外国語を話す |
| 24 通勤時間と通勤手段 | 99 タブー | 174 パーティーと夫婦 | 249 外国語の文法 |
| 25 交通規則と道路 | 100 長寿の象徴 | 175 パーティーに興をそえる | 250 外国語の発音のくせ |
| 26 マイ・カーなどの扱い方 | 101 色の意味 | 176 客を自宅でもてなすとき | 251 用字 |
| 27 サラリーマンの服装 | 102 虹と太陽の色 | 177 子育ての責任 | 252 外国語の標示 |
| 28 バスの乗り降り | 103 水と湯, 兄と弟 | 178 家計のとりしきり | 253 否定形の質問に対する応答 |
| 29 タクシー | 104 月面の斑点 | 179 子供と大人のあいだ | 254 会話がとぎれると |
| 30 交通機関でのアナウンス | 105 街の音 | 180 保護と自立 | 255 人前で話す |
| 31 混んだ乗り物と乗客 | 106 人を批判するとき | 181 学校教育 | 256 話す人と聞く人の関係 |
| 32 乗り物のなかで | 107 会話中の視線 | 182 教育をめぐる親子関係 | 257 当惑したとき |
| 33 こりをとる | 108 「すみません」 | 183 補習とアルバイト | 258 質問の意味がわからないとき |
| 34 かぜをひいたら | 109 責任と自我 | 184 課外活動 | 259 知らないことを聞かれたとき |
| 35 公衆道徳 | 110 上位者と同席のときの発言 | 185 若いときの苦勞 | 260 ことばを探すとき |
| 36 よっぱらいと立小便 | 111 正面きって反対するか | 186 思考癖 | 261 行為の説明 |
| 37 人前でうたう | 112 「考えておく」 | 187 感情と理性 | 262 身体言語 |
| 38 飲むか飲まれるか | 113 「愛している」 | 188 うき世を見る目 | 263 「はい」のジェスチャー |
| 39 飲みぐせ | 114 強く自説を主張すると | 189 やり手に対する態度 | 264 「いいえ」のジェスチャー |
| 40 酒の上の誤ち | 115 何を紹介するか | 190 専門家と職人 | 265 お金のジェスチャー |
| 41 パーティーの社会学 | 116 第三者の紹介 | 191 道具に対する感情移入 | 266 「おいで」のジェスチャー |
| 42 スピーチの場 | 117 客先訪問と社内会議 | 192 仕事場に対する感情移入 | 267 何かを決めるとき |
| 43 スピーチの仕方 | 118 おもしろくない場合に居合わせると | 193 押しと引き | 268 雑談の話題 |
| 44 パーティーの時間 | 119 年長者と指導者 | 194 単位 | 269 友情の表現 |
| 45 時間の約束 | 120 周囲をどう意識するか | 195 花 | 270 見送り |
| 46 どこでもてなすか | 121 個人と集団 | 196 国旗 | 271 感情の表現 |
| 47 喫茶店 | 122 レストランでの注文 | 197 国民としての意識 | 272 観衆の行動 |
| 48 手みやげ | 123 記念写真 | 198 出身地あるいは故郷 | 273 美術や文芸に対する関心 |
| 49 贈物をめぐる言葉使い | 124 要素のまとめ方 | 199 外国人 | 274 文化活動の組織 |
| 50 お世辞に対する反応 | 125 意志決定の方法 | 200 国際結婚に対する態度 | 275 審美的趣向 |
| 51 女が笑うとき | 126 「ありがとう」 | 201 他国に対する態度 | 276 土着要素と外来要素 |
| 52 社交の形質人類学 | 127 義理 | 202 器用さと発明の才 | 277 製品の特色 |
| 53 あいさつ | 128 平等と差別 | 203 日常生活のテンポ | 278 ベット |
| 54 道で出会うと | 129 乞食をどう見るか | 204 仕事のテンポ | 279 庭のデザイン |
| 55 社交辞令 | 130 サービス労働者の人間関係 | 205 計画性 | 280 落葉と水 |
| 56 ほめることの効果 | 131 家事使用人の人間関係 | 206 未来への流れ | 281 引用 |
| 57 主人と客の関係 | 132 地位とふるまい | 207 日標志向 | 282 デパートの特色 |
| 58 姓名 | 133 金と力 | 208 自然と人為 | 283 美術館の特色 |
| 59 女が結婚すると | 134 他人に対する心使い | 209 勤労観 | 284 演劇の特色 |
| 60 人の呼び方 | 135 場所とり | 210 世界観 | 285 自国の歴史 |
| 61 名刺と手紙の宛名 | 136 雇用関係と賃金制度 | 211 中核的パーソナリティ | 286 ユーモア |
| 62 後継ぎをどうするか | 137 職務分掌と権限委譲 | 212 精神的価値 | 287 儀式と形式 |
| 63 家産に対する態度 | 138 期待される上司像 | 213 宗教儀式 | 288 味覚 |
| 64 友人とパートナー | 139 ボーナスと福利厚生 | 214 ビジネスとしての占い | 289 服装と個性 |
| 65 組織と人名 | 140 要員の採用 | 215 一人占い | 290 テレビの普及度 |
| 66 妻を語る | 141 新規採用者の訓練 | 216 帰省シーズン | 291 テレビの特色 |
| 67 伝統的な服装 | 142 教育と職業 | 217 年号と暦 | 292 タレントと政治 |
| 68 男の美学 | 143 事務所のレイアウト | 218 祝祭日 | 293 プロ・スポーツ |
| 69 集中的努力にそなえるとき | 144 事務所と学校の制服 | 219 休日 | 294 芸能人のプライバシー |
| 70 盛装のとき | 145 工場の制服 | 220 年度 | 295 自殺 |
| 71 季節に応じて | 146 工場での体操 | 221 年次休暇 | 296 事故死の処理 |
| 72 靴とスリッパ | 147 組織に対する帰属意識 | 222 休日に働く | 297 死者の扱い方 |
| 73 トイレ | 148 永年勤続者の処遇 | 223 貯蓄 | 298 幽霊 |
| 74 体の清潔 | 149 定年と平均寿命 | 224 所得と税金 | 299 墓 |
| 75 体を洗うとき | 150 転職と転社 | 225 物を拾うと | 300 墓地 |

「アフリカ月間」行事

日本とアフリカの人々の友好関係の一層の促進及び現在アフリカが直面している諸困難に対しての日本国民の関心を高めること等を目的とし過般9月28日より1ヶ月間、下記の通り各種行事が開催された。……外務省編集「日本とアフリカ」より抜萃

- a. アフリカ月間イノギューレーション・レセプション
日時 9月28日(金)
場所 帝国ホテル
b. アフリカ自然保護ポスター展
日時・場所
9月25日(火)～29日(土)銀座和光ホール
10月10日(水)～16日(火)札幌東急
10月23日(火)～11月2日(金)名古屋国際センター
c. アフリカの音とかたち展
日時 9月28日(金)～10月28日(日)
場所 科学技術館
d. アフリカ切手展
日時・場所
9月28日(金)～10月3日(水)小田急百貨店(新宿)
10月23日(火)～11月2日(金)名古屋国際センター
e. シンポジウム「貧しいアフリカ, 富めるアフリカ」
- 正確なイメージを求めて -
日時 10月18日(木)
場所 朝日ホール(築地)
f. 地球最後の遊牧民「ワーダベ」写真展
期間 10月22日(月)～11月3日(土)
場所 東京・銀座 資生堂ザ・ギンザ5階ホール
g. ブック・フェア・アフリカ
- 政治・経済・文化のすべて -
日時 10月11日(木)～24日(水)
場所 八重洲ブックセンター1階
h. キング・サニ・アデ公演
日時・場所
10月22日(月)フェスティバルホール(大阪)
10月27日(土)代々木競技場(東京)
i. 育てよう「愛」アフリカ展
日時 9月21日(金)～30日(日)
場所 新宿NSビル
j. アフリカ民族舞踊団公演
上演日程
9月28日 「アフリカ月間イノギューレーション・レセプション」でデモンストレーション
29日 東京親善公演(共立講堂)
30日 東京親善公演(後楽園野外劇場)
10月1日 「アフタカ, アフリカノ, アフリカ!!」でデモンストレーション(椿山荘)
3日 名古屋親善公演(名古屋城特設ステージ)
4日 大阪親善公演(中之島公会堂)

- k. 「アフリカ, アフリカ, アフリカ!!」
日時 10月1日(月)
場所 椿山荘
l. 国際交流基金アフリカ
日時・場所
10月19日(金)
オープニングレセプション 草月会館
10月20日(土)～25日(木)
上映会 新橋ヤクルトホール
10月26日(金)～31日(水)
特別上映会 映像カルチャーホール
10月27日(土)～28日(日)
シンポジウム 映像カルチャーホール
11月～1985年3月にかけて国内地方都市で上映
m. 中央アフリカバスケットボールチーム招へい
日時10月13日(土)～20日(土)
場所 東京, 京都
n. アフリカ早わかり実務セミナー
日時 東京=10月9日(火)
大阪=10月18日(木)
場所 東京=都道府県会館(永田町)
大阪=大阪府立労働センター(天神橋)

＜協会活動計画第2弾＞

チチェア・日本語辞典編さんに向けて、文化交流、相互理解のための辞典編さんに対する各位への協力をKWACHA No.1で行いましたところ、現地より船便で3千語近い資料が届きました。現在はそのまま貝塚専務理事のところへ保管されております。辞典として発行する場合、2万語前後必要となりますのでOB, OGの中にも手持ち資料がございましたら、協会までお知らせください。また御協力いただける方は貝塚専務理事まで連絡してください。

＜協会活動計画第3弾＞

比較生準文化事典編さん一去る7月19日、渋谷ヒルポートホテルにおいて東和大学教授金山宣夫先生を特別講師として御招きし、比較生活文化事典編さんについて先生の趣旨を説明していただきました。前ページ記載の300項目による2ないし3ヶ国の比較より文化を理解していただくとする事典で、席上先生は協力隊OB、隊員が力を合わせて未完成でもやる意義はあるだろうと述べられました。また保阪努(青

年海外協力協会会長)氏も「語り継がれる派遣国史を作るのに役立つであろう」との話があり、全員賛成で比較生活文化事典編さんに向けて委員長として湯川洋治(53年3次隊)OBを選出しました。どうぞん資料をお寄せください。

＜比較生活文化事典編さん例＞

- 1. 日常の食事
＜日本＞ 日常の食事に、ごはん、味噌汁、漬物を欠かせない。パン、肉、野菜の組合せも一般的に見られる。
＜アメリカ＞ よくバランスのとれた日常の食事は、あついスープにはじまり、次に消化をよくするためサラダがくる。コースの主要部分は、肉と野菜である。
＜メキシコ＞ 日常の食事は、トルティージャ(ortilla = トウモロコシの粉をねり、お好み焼きのように薄くのばして揚げたもの)とコーヒーを欠かせない。
2. 何を使って食べるか
＜日本＞ 食事をするのにハシを使う。右手にハシ、左手にワンをもつ。ナイフ、フォーク、スプーンを使うことも多い。
＜アメリカ＞ 食事をするのに、ナイフ、フォーク、スプーンを使う。それぞれに特殊なものがある。たとえば普通のナイフの他に、刃にギザギザのついたステーキ用ナイフがある。
＜メキシコ＞ 一般的にナイフ、フォーク、スプーンを使う。タコス(tacos = トルティージャに肉や野菜を巻いたもの)やトルタス(ortas = ハンバーガーに似た食物)のように伝統的な食物は手で食べる。

☆ ☆ ☆

マラウイ国への青年海外協力隊員派遣実績

(1984年10月1日現在)

Table with 4 columns: Gender, Dispatched, Returned, Total. Rows for Male, Female, and Total.

日本マラウイ協会会員 只今 110名

昭和59年11月1日現在

(内協力隊マラウイO.B., O.G., 84名)

入会のおすすぬ

日本マラウイ協会(Malawi Society of Japan)は、日本とマラウイ両国間の理解を深め、文化、スポーツ、経済、科学技術等の協力を通じ、相互の繁栄に寄与することを目的とする任意団体です。趣旨を御理解の上、広く各位の入会を希望します。

入会方法

所定の入会申込書に各項記入の上、入会金(個人正会員は1,000円)及び年会費(同年額3,000円)の合計(個人正会員の場合は計4,000円)とともに、下記にお送りください。

〒153 東京都目黒区五本木2丁目18-14
リオマンション2F
日本マラウイ協会

なお、入会金及び年会費は下記の銀行口座へ送金して下さっても結構です。

三和銀行 東恵比寿支店
普通口座 255739
口座名義人: 日本マラウイ協会
代表 卜部敏男

また、協会規約・入会規定その他については上記住所の協会、もしくは別掲貝塚光宗(協会専務理事)あてお問い合わせください。

日本マラウイ協会機関誌

「Kwacha」(クワチャ) 第2号

発行 日本マラウイ協会
〒153 東京都目黒区五本木2丁目18-14
リオマンション 2F
TEL 03-791-2591

1985年2月15日発行

日本マラウイ協会役員一覧

Table listing board members: 会長 卜部敏男, 副会長 秋山忠正, 専務理事 貝塚光宗, 理事 渥美堅持, etc.

Table listing staff: 理事 桑折信明, 小松建大, 本作芳美, 中小原淳, 木内行雄, 宮原裕, 岩佐是男, 湯川洋治, 後藤王重, 監事 満岡貞太郎, 山村俊之

<任期: 1984.4.1 ~ 1986.3.31 >